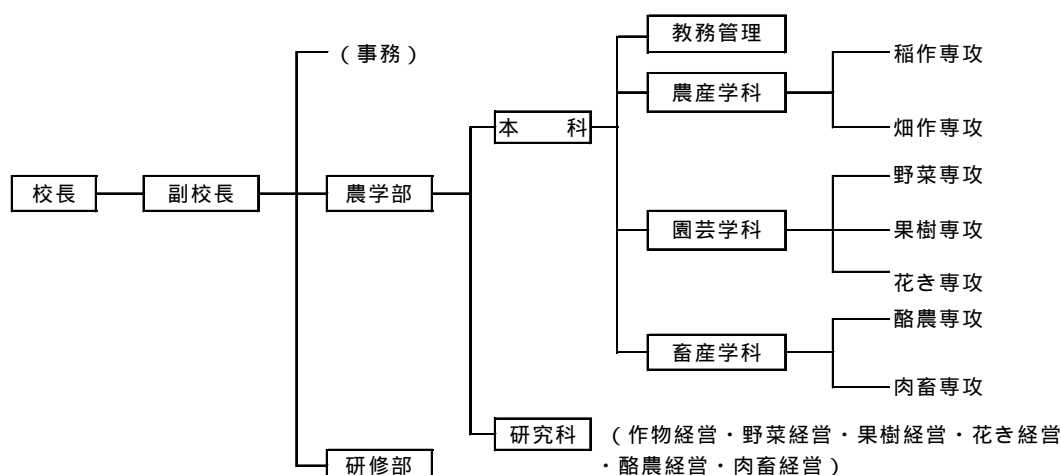


先進的農業者育成・支援

1 農業短期大学の業務実績

(1) 概要

ア 組織



イ 施設

区分	主な施設内容
教育施設	本館(教室、教養ホール、視聴覚教室、職員室、事務室、会議室、教育相談室、講師控室) 研究実験棟(各学科、専攻教室(ゼミ室)、実験演習室、研究室、無菌室、培養室) 多目的学習棟(図書室、情報処理演習室、学生ホール) 男子寮(けやき寮)、女子寮(せんだん寮)、食堂、体育館、運動場、テニスコート
実習教育施設	実習教育棟、作業棟(園芸、農産)、機械格納庫、果実選果場、養液栽培温室、育成栽培管理温室 パイプハウス、乳牛舎、肉牛舎、肥育牛舎、畜産加工演習棟、堆肥舎
研修施設	研修棟 農業機械実習棟(整備実習室)、トラクタ運転練習コース 農産加工技術センター(開発室、発酵加工室、高湿加工室、粉体加工室)

(2) 農学部の取り組み

次代を担う農業者及び地域農業指導者を養成するため、農業に関する講義や実験・演習、実習、研修などの教育を行った。平成 28 年度の入寮は、2 学年は男子 37 名、女子 5 名、1 学年は男子 37 名(2 名は中途から)、女子 11 名が入寮した。

平成 28 年度の実績は、下記のとおりである。

ア 専修教育の状況

(ア) 学生の状況(学年毎の定員、本科 60 名、研究科若干名)

a 本科の学生数は、1 学年 53 名(うち女子 13 名)、2 学年 49 名(うち女子 6 名)、計 102 名(うち女子 19 名)。学科別では、1 学年は、農産学科 11 名、園芸学科 31 名、畜産学科 11 名、2 学年は農産学科 11 名、園芸学科 32 名、畜産学科 6 名であった。研究科は 2 名であった。

b 本年度の専門士(農業専門課程)の称号が付与される者(卒業生)は、49 名であった。

c 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金貸与者は、1 学年 11 名、2 学年 10 名であった。

イ 進路指導の取組

(ア) 就農へのインセンティブ

a 1 学年を対象に、就農先としての農業法人について理解を促進する目的で校内法人説明会を開催(7~8 月、6 法人を招へい)した。

b 本校を卒業し活躍している若手の農業経営者や先進的な農業法人の経営者を講師として招聘するとともに、職業としての農業について懇談した(「先輩と語る会」等)。

c 農業の復興に取り組む農業法人や技術革新に取り組む意欲的な農業経営を現地で研修した。

(イ) 進路に対する意識付けと支援

a 1 学年の 5 月と 2 月に進路希望調査を実施した。

b 学生に進路に対する目的意識を強く持たせるとともに、就職を希望する学生に対しては就職活動における心構えを、また、自家就農を希望する学生には雇用する立場となる経営者としての資質向上が図られるよう、2 学年については 5 月に、1 学年については 11 月に進路指導会を開催した。

c 農業法人等からの求人情報を学生に提供するとともに校内で農業法人による説明会(6 月)を開

- 催するなど法人就農活動を支援した。
- (ウ) 資格取得支援
- a 大型特殊免許（農耕車に限る）
2 学年 27 名が免許を取得した。なお自主的に大型特殊免許を取得した学生と併せると 46 名が免許を取得した。
 - b けん引運転免許（農耕車に限る）
2 学年 27 人が免許を取得した。
 - c 毒物劇物取扱者
2 学年は 2 名、1 学年は 4 名が資格を取得した。
 - d 日商簿記（3 級）
1 学年 2 名が試験に合格した。
 - e 刈払機取扱作業安全衛生教育 2 学年 48 名受講
 - f アーク溶接業務特別教育 2 学年 46 名受講
 - g 家畜人工授精師
畜産学科 2 学年 5 名が資格を取得した。
 - h 土壌医（3 級）
2 学年 3 名が受験し、全員合格した。
- (エ) 平成 28 年度卒業者の主な進路
主な進路は、自家就農 5 名（主な経営分野は、水稻 4 名、野菜 1 名）、法人への雇用就農 13 名（主な就農分野は稲作 2 名、畑作 1 名、野菜 5 名、花き 2 名、酪農 1 名、養豚 1 名、養鶏 1 名）、農業研修 1 名、農業協同組合 9 名、農業関連産業（農畜産物流通業等）7 名であった。
- (オ) 青年就農給付金の活用
- a 青年就農給付金（準備型）は、就農を希望する青年が農業技術及び経営ノウハウの習得のための長期の研修実施を支援する制度で、給付金が年額 150 万円以最長 2 年間給付される。本校農学部本科及び研究科の学生と研修部長期研修の受講生が給付要件を満たす研修として位置づけられている。2 学年 4 名、1 学年 7 名、長期研修受講生 2 名が受給した。
 - b 2 学年の受給者の就農分野は、雇用就農 3 名、研修 1 名であった。
- ウ 学生募集の取組
- (ア) 募集要項等の送付
募集要項等を高等学校 113 校、県の 43 機関、59 市町村、16 団体に送付し、募集への協力を依頼した。
- (イ) 高校訪問
県内の高校 107 校を訪問し、進路担当教員に対して、本校の概要及び募集について説明するとともに生徒の進路希望状況について調査した。
- (ウ) 進路説明会への参加
高等学校主催の説明会に参加し、延べ 26 校 127 名の生徒に本校の概要等について説明した。学年主任及び進路担当教員に本校の概要及び募集について説明した。
- (エ) オープンキャンパスの開催
7 月 28 日（木）、8 月 3 日（水）にオープンキャンパスを開催し、本校の施設及び講義内容等について説明した。32 校 67 名が参加した。案内は高等学校 113 校、59 市町村、農林水産部の 23 機関、2 団体に送付し、協力を依頼した。
- (オ) 県広報の活用
広報課 30 秒スポット放送、キビタン GO！（福島テレビ）、ラウンド農ふくしま、ゆめだよりに教育内容の紹介、学生募集の案内を掲載した。
- (カ) 学校見学の受け入れ
県立高校 7 校の生徒 356 名、教員 53 名、保護者 21 名が来校し、施設・設備の見学及び教育内容の説明を行った。
- (キ) 教員向け学校説明
高等学校での会議及び大会に参加し、延べ 193 名の高校教員に本校の概要及び募集について説明した。
- (ク) 第 11 回農業総合センターまつり
アグリカレッジ福島ブースを設けて、学校の紹介と合わせ学生募集の案内、資料配布を行った。資料配布 100 部、相談 2 件

工 学生数 (ア) 専攻別 1 学年 (名)					2 学年 (名)					研究科 (名)				
学科	専攻	男子	女子	計	学科	専攻	男子	女子	計	学科	男子	女子	計	
農産	稲作	4	1	5	農産	稲作	5	1	6	研究 合計	2	0	2	
	畑作	6	0	6		畑作	4	1	5		合計	2	0	2
	小計	10	1	11		小計	9	2	11					
園芸	野菜	7	5	12	園芸	野菜	11	1	12					
	果樹	7	3	10		果樹	10	1	11					
	花き	9	0	9		花き	8	1	9					
	小計	23	8	31		小計	29	3	32					
畜産	酪農	3	3	6	畜産	酪農	2	0	2					
	肉畜	4	1	5		肉畜	3	1	4					
	小計	7	4	11		小計	5	1	6					
合計		40	13	53	合計		43	6	49					

(イ) 農家、非農家別								
	1 学年		2 学年		研究		合計	
	学生数 (名)	割合 (%)	学生数 (名)	割合 (%)	学生数 (名)	割合 (%)	学生数 (名)	割合 (%)
専業	9	17	9	18	0	0	18	17
兼業	17	32	16	33	1	50	34	33
計	26	49	25	51	1	50	52	50
非農家	27	51	24	49	1	50	52	50
合計	53	-	49	-	2	-	92	-

(ウ) 出身高校課程別								
	1 学年		2 学年		研究		合計	
	学生数 (名)	割合 (%)	学生数 (名)	割合 (%)	学生数 (名)	割合 (%)	学生数 (名)	割合 (%)
農業高校	32	60	30	61	2	100	64	60
普通高校	14	27	11	23	0	0	25	29
その他	7	13	8	16	0	0	15	11
合計	53	-	49	-	2	-	104	-

オ 教育科目
 (ア) 本科
 a 教養・専門科目

区分	科目名	単位	時間			1 学年		2 学年		備考
			講義	実演	実習	前期	後期	前期	後期	
教養科目	小論文	1	15			15				
	生物	2	30			30				
	化学	2	30			30				
	数学	2	30			30				
	体育	2		60		28	12	14	6	
	教養講座	1	15			4	5		6	
	(選択)経済	1	15			15				
	(選択)法律	1	15			15				
	(選択)英会話	1	15			15				
	(選択)心理	1	15			15				
	必修科目	10	120	60		137	17	14	12	3単位必須
	選択科目	4	60			60				
	合計	14	180	60		197	17	14	12	
専門科目	国際農業比較論	1	15			15				
	農学概論	2	30			30				
	基礎実習	2			90	90				3班編成
	簿記	2	30			30				2班編成
	簿記演習	2		60		60				2班編成
	農業概論	2	30			30				
	農業機械	2	30			30				
	農業情勢	1	15				15			
	生物工学	1	15				15			
	生物工学 実験	1		30			30			農産・園芸:植物、畜産:動物
	農業情報処理	1	15				15			
	農畜産物加工	1	15				15			
	農畜産物加工演習	1		30			30			
	土壌肥料実験	1		30			30			4班編成
	農業情報処理 演習	2		60			44	16		4班編成
	農業機械 実習	2			90	8	36	46		3班編成
	農産物流通	1	15					15		
	有機農業	1	15					15		
	土壌肥料概論	2	30					30		
	卒業論文	4		120				60	60	
	マーケティング論	1	15						15	
	環境保全と農業	2	30						30	
	農業経営	2	30						30	
	農業経営演習	1		30					30	7時~16時-16時間含む
	(選択)農業団体論	1	15					15		農協法、農協論、共済論
	(選択)農業関連産業論	1	15					15		
	(選択)農村調査法	1	15					15		
	(選択)簿記会計	1		30				30		2班編成
	(選択)生物工学	1	15					15		農産・園芸:植物、畜産:動物
	(選択)農業機械 実習	1			45			45		3班編成
	(選択)農業情報処理	1	15						15	
	(選択)農業気象	1	15						15	
	(選択)農業土木概論	1	15						15	
	(選択)食用きのこ論	1	15						15	
必修科目	38	330	360	180	293	230	182	165	6単位必須	
選択科目	10	120	30	45		75	60	60		
合計	48	450	390	225	293	305	242	225		

b 専攻科目

区分	科目名	単位	時間			1学年		2学年		備考					
			講義	実演	実習	前期	後期	前期	後期						
専攻科目	農産学	共通	植物病理	1	15			15							
			応用昆虫	1	15			15							
			植物病理昆虫実験	1		30				30					
			植物育種	2	30					30					
			植物生理	2	30					30					
	農産学	稲作	稲作各論研修	5			225	225	28	46	8	先進農家等留学研修			
			稲作各論研修	2			90	8				県内外研修・企画研修			
			稲作各論実習	18			810	162	243	270	135				
			稲作各論	2	30			6	24						
			稲作各論	2	30					30					
			稲作各論	2	30						30				
			農産学	畑作	畑作各論研修	5			225	225				先進農家等留学研修	
					畑作各論研修	2			90	8	28	46	8	県内外研修・企画研修	
					畑作各論実習	18			810	162	243	270	135		
					畑作各論	2	30			6	24				
	畑作各論	2			30					30					
	畑作各論	2			30						30				
	農産共通専攻計		38	180	30	1,125	401	325	436	173					
	専攻科目	園芸学	共通	植物病理	1	15			15						
				応用昆虫	1	15			15						
				植物病理昆虫実験	1		30				30				
				植物育種	2	30					30				
				植物生理	2	30					30				
		園芸学	野菜	野菜各論研修	5			225	225				先進農家等留学研修		
				野菜各論研修	2			90	8	28	46	8	県内外研修・企画研修		
				野菜各論実習	18			810	162	243	270	135			
				野菜各論	2	30			6	24					
				野菜各論	2	30					30				
				野菜各論	2	30						30			
				園芸学	果樹	果樹各論研修	5			225	225				先進農家等留学研修
						果樹各論研修	2			90	8	28	46	8	県内外研修・企画研修
						果樹各論実習	18			810	162	243	270	135	
						果樹各論	2	30			6	24			
		果樹各論	2			30					30				
		果樹各論	2			30						30			
		園芸学	花き	花き各論研修	5			225	225				先進農家等留学研修		
				花き各論研修	2			90	8	28	46	8	県内外研修・企画研修		
				花き各論実習	18			810	162	243	270	135			
花き各論				2	30			6	24						
花き各論				2	30					30					
花き各論				2	30						30				
園芸共通専攻計				38	180	30	1,125	401	325	436	173				

区分	科目名	単位	時間			1学年		2学年		備考	
			講義	実演	実習	前期	後期	前期	後期		
専攻科目	共通	家畜育種	1	15				15			
		家畜解剖	1	15				15			
		家畜繁殖	1	15					15		
		家畜衛生	1	15					15		
		家畜飼養	2	30					30		
		家畜解剖実験	1		30				30		
	酪農	酪農各論研修	5			225	225			先進農家等留学研修	
		酪農各論研修	2			90	8	28	46	8	県内外研修・企画研修
		酪農各論実習	18			810	162	243	270	135	
		酪農各論	2	30			6	24			
		酪農各論	2	30					30		
		酪農各論	2	30						30	
	肉畜	肉畜各論研修	5			225	225				先進農家等留学研修
		肉畜各論研修	2			90	8	28	46	8	県内外研修・企画研修
		肉畜各論実習	18			810	162	243	270	135	
		肉畜各論	2	30			6	24			
		肉畜各論	2	30					30		
		肉畜各論	2	30						30	
	畜産共通専攻計		38	180	30	1,125	401	325	433	173	
	必修科目合計										講義9科目9単位選択の場合
	農産学科		86	630	450	1,305	831	572	632	350	
園芸学科		86	630	450	1,305	831	572	632	350		
畜産学科		86	630	450	1,305	831	572	632	350		
選択科目合計(農産、園芸、畜産)		9	135			135					
学校行事			180			180					
合計		95	2,700			2,700					

(イ)研究科

a 共通・専攻科目

区分	科目	単位数	時間			履修時期	備考
			講義	実・演	実習		
共通科目	農業経営	2	30			前期	
	農業法規	2	30			前・後期	
	情報処理	1	15			前期	
	情報処理演習	1		30		前期	
	農産物流通	1	15			後期	
	財務会計	1	15			前期	
	財務会計演習	1		30		前期	
	経営工学	1	15			後期	
	税法	1	15			前期	
	農政時事	1	15			後期	
	マーケティング	1	15			前期	
	マーケティング演習	1		30		前・後期	
	環境保全型農業論	1	15			前・後期	
	国際農業	1	15			前期	
	国際農業実習	2			90	前・後期	
	卒業論文(研究プロジェクト)演習	5		150		前・後期	
卒業論文(研究プロジェクト)実習	12			540	前・後期		
小計		35	195	240	630		
専攻科目	専攻各論	4	6			前・後期	
	専攻論実習	3			135	前・後期	
	小計	7	60		135		
合計		42	255	240	765		
学校行事			40				
合計			1,300				

b 卒業論文(研究プロジェクト)

学生氏名	専攻	課 題 名	指導担当職員
齋藤 貴明	作物経営	稚苗と密苗の比較調査	影山浩昭(稲作科)
佐藤 尚之	作物経営	水稻有機栽培におけるコナギ防除のための米糠散布と機械除草との効果的な組み合わせについて	横井直人(有機農業推進室)

カ 非常勤講師一覧

(ア) 本科

	科 目	講師名	所属・職・機関
教養科目	小論文	成田章江	第一学習社小論文講師
	化学	柳沼力夫	元日本大学非常勤講師
	(選択)経済	藤原一哉	福島大学経済経営学類教授
	(選択)法律	吉川幸雄	吉川幸雄法律事務所長
	(選択)英会話	担当職員	ジェイムズ英会話
	(選択)心理	玄永牧子	元福島学院大学客員講師
	(選択)体育	高萩孝平	元県立高校教員
	教養講座(卒業記念講演)	本田よう一	料理家
専門科目	国際農業比較論、農産物流通	津谷好人	宇都宮大学名誉教授
	農薬概論(劇毒解説)	柳沼力夫	元日本大学非常勤講師
	農業情報処理	担当職員	パソネットワールド
	農畜産物加工演習(園芸(花き専攻))	中村良美	フラワースタジオ ポコアポコ主宰
	農畜産物加工演習(畜産)	中野目貴洋	株式会社ノーベル
	マーケティング論	西元良行	福島大学名誉教授
	農業経営演習	厚木昇	株式会社はらき総合会計事務所
	農業経営	津谷好人	宇都宮大学名誉教授
専門科目	農産物流通	津谷好人	宇都宮大学名誉教授
	(選択)農業団体論(農協論)	担当職員	福島県農業協同組合中央会
	(選択)農業団体論(共済論)	担当職員	福島県農業共済組合連合会
	(選択)農村調査法	八巻 聡	元県農業試験場経営部長
	(選択)農業気象	渡邊 明	福島大学特任教授
	(選択)農業情報処理	担当職員	パソネットワールド
	(選択)食用きのこ論	担当職員	森林林業総室
専攻科目	(選択)農業土木概論	担当職員	農村整備総室
	植物育種	荒川市郎	全農福島本部技術常任参与
	家畜解剖実験	担当職員	県中家畜保健衛生所
	家畜衛生	担当職員	県南家畜保健衛生所

(イ) 研究科

	科 目	講師名	所属・職・機関
共通科目	農業法規	担当職員	農村計画課、農業担い手課、農業経済課
	情報処理及び同演習	担当職員	パソネットワールド
	農産物流通及び国際農業	渡部直人	農業開発コンサルタント
	税法	板倉雄一郎	税理士
	マーケティング及び同演習	西元良行	福島大学名誉教授
	環境保全型農業論	舘川 洋	開発肥料販売株式会社特別技術顧問
専攻科目	卒業論文演習及び実習	担当職員	農業総合センター

キ 教育行事経過

月 日	行 事 名
平成28年 4月11日	始業式
13日	入校式
15日	健康診断
28日	防火避難訓練
5月12日	植付け祭、スポーツ大会(学生自治会主催)
20日	卒業論文設計発表会
26日～27日	東日本農業大学校等親善球技大会(宮城県)
6月20日～6月29日	先進農家等留学研修(前期)
7月11日	学校記念日(休業日)
8月10日～19日	夏季休業
30日	毒物劇物取扱者資格試験
31日～9月14日	先進農家等留学研修(後期)
9月26日～30日	前期試験
10月23日	櫛隆祭(櫛隆祭実行委員会主催)
26日	先輩と語る会
11月20日	日商簿記検定試験
25日	収穫祭、球技大会(学生寮自治会主催)
29日	防火避難訓練
12月 1日	意見発表会
14日	卒業論文発表会
23日～1月13日	冬季休業
平成29年 1月19日～20日	東日本農業大学校等プロジェクト発表・交換大会(福島県)
25日～27日	後期試験
2月 3日～24日	家畜人工授精に関する講習会
3日	県農村青年会議プロジェクト発表会(郡山市)
12日	土壌医検定試験
13日～15日	全国農業大学校等プロジェクト発表会・交換大会(東京都)
26日	日商簿記検定試験
3月 3日	卒業記念講演会(講師:本田よう一氏「料理を通して農業を見ると～福島で働くこと～」)
8日	卒業式
10日	終業式
11日～4月9日	春季休業
18日～24日	海外農業研修(ニュージーランド)

ク 卒業生の進路状況(平成29年3月3日現在)

進 路		本科	研究科
就 農	自家	5	0
	法人	12	1
	研修	1	0
	小計	18	1
非就農	臨時職員(本校等)	3	1
	公務員	0	0
	農協	9	0
	農業関連団体	0	0
	農業関連産業	7	0
	他産業	7	0
	進学	0	0
	その他	1	0
小計	26	1	
未 定	4	0	
合 計	49	2	

(3) 研修部の取組

ア 研修実施状況

初級春コースは人数が定員となった。福島市出身で東京からの参加者もあり盛況であった。その後の秋コース、冬コースには春コースから続けて参加する人もあり、研修内容が評価されたと考えられる。

農産加工研修は、6次化推進研修の受講生は定員を上回ることが多く、若い受講生も増加した。

農業機械研修は、研修全体をとおして例年以上に受講者が多く、特に運転免許取得研修で顕著であった。また、要請により現地開催する農作業安全研修は11回の実施となり、前年度の好評を維持した。

施設利用研修として、農産加工研修については、平成28年度革新事業で整備した製缶機等の活用により新商品開発を目指す利用者も出てきた。農業機械研修については、短大職員の技能向上となる研修を多く実施した。

イ 研修実績
(ア) 就農研修
a 初級

名称	主な内容	対象者及び定員	受講者数	期間(日数)
(a) 春コース	[講義] ・栽培のための基礎知識 ・営農に係る基礎知識 [実習] ・栽培管理実習 ・農業機械体験実習	就農予定(希望)者 15名	15名	5~8月 7日(日曜日開催)
(b) 秋コース	[講義] ・栽培のための基礎知識 ・営農に係る基礎知識 [実習] ・栽培管理実習 ・農業機械体験実習		4名	9~11月 7日(平日開催)
(c) 冬コース	[講義] ・栽培のための基礎知識 ・営農に係る基礎知識		9名	1~2月 5日(平日開催)

b 中級

名称	主な内容	対象者及び定員	受講者数	期間(日数)
(a) 中級	[講義、演習、見学] 必修科目：農薬適正使用、土壌肥料、 農業経営、農業気象、 農業機械、鳥獣害対策 選択科目：水稻、野菜、果樹、花 き、有機農業	・福島県内で農業によ り生計を立てよう としている者 ・農林事務所が受講を 勧める者 ・15名	13名	5~11月 必修科目10日 選択科目各4~5日 (平日開催)

c 長期就農研修

名称	主な内容	対象者及び定員	受講者数	期間(日数)
(a) 長期就農研修	[実習、講義] 栽培管理実習を柱にした1年間の 研修 研修科目 施設野菜、露地野菜、果樹、 花き、水稻・畑作物、畜産、 有機栽培 研修場所 農業短期大学校研修部、 農業総合センター本部、 果樹研究所、畜産研究所、 会津地域研究所、浜地域研究所	福島県内で農業によ り生計を立てるこ を目標とし、就農前に 農業の知識及び技術 の習得を目指す者 農業短大枠5名 他若干名	9名 内訳 農業短大 4名 果樹研 5名	平成28年 4月 ~平成29年 3月 (一部 平成28年10月 ~平成29年9月)

(イ) 農産加工研修

a 加工初心者基礎研修

名称	主な内容	対象者及び定員	受講者数	期間(日数)
(a) 農産物加工活動 の基礎	農産物加工に取り組むために必要 な基礎知識の習得	今後、農産物加工活動 を始める予定の農業 者		
第1回	・加工品販売と食品営業許可、表 示等	35名	19名	5月11日(1日)
第2回	・施設運営の基礎等 ・加工に必要な施設・器具・機材 等について		3名	11月30日(1日)

b 保存技術コース

名称	主な内容	対象者及び定員	受講者数	期間(日数)
(a) 食品の殺菌 方法	・真空包装、加熱殺菌等は なぜ必要か ・糖度、PH、塩分等との関係性 ・包装資材の選び方 ・基本的衛生管理	農産物加工販売者若 しくは予定者各25名	29名	5月18日(1日)

名 称	主 な 内 容	対 象 者 及 び 定 員	受 講 者 数	期 間 (日 数)
(b) 瓶 詰 め 食 品	・ 果 実 の ジ ャ ム 等 の 瓶 詰 め 加 工 方 法	農産物加工販売者若しくは予定者各 25 名	27 名	6 月 1 日 (1 日)
(c) 袋 詰 め 食 品	・ 漬 物 、 惣 菜 等 の 袋 詰 め 食 品 の 保 存 方 法		26 名	6 月 15 日 (1 日)
(d) レ ト ル ト 食 品	・ レ ト ル ト 殺 菌 機 に よ る 長 期 保 存 方 法		21 名	7 月 6 日 (1 日)
(e) 缶 詰 食 品	・ 缶 詰 加 工 に よ る 長 期 保 存 方 法		10 名	9 月 1 日 (1 日)
(f) 乾 燥 食 品	・ 食 品 の 乾 燥 と 保 存 性 ・ 食 品 の 粉 末 化		25 名	7 月 20 日 (1 日)

c 農家レストラン開業コース

名 称	主 な 内 容	対 象 者 及 び 定 員	受 講 者 数	期 間 (日 数)
(a) 事 業 計 画 の 立 て 方	・ 開 業 に 向 け て の コ ン セ プ ト を 考 え る。 ・ ど ん な 形 態 の 店 舗 と す る か ・ 地 域 の 市 場 調 査 の 方 法 の 検 討	農産物加工販売者若しくは予定者 25 名	13 名	8 月 17 日 (1 日)
(b) 資 金 計 画 の 立 て 方	・ 開 業 資 金 の 見 積 ・ 必 要 、 不 必 要 な 機 器 の 洗 い 出 し		15 名	8 月 31 日 (1 日)
(c) メ ニ ュ ー の 設 定	・ レ シ ピ の 作 成 と 原 価 計 算		15 名	9 月 14 日 (1 日)
(d) 優 良 農 家 レ ス ト ラ ン の 視 察	・ 優 良 事 例 の 視 察		16 名	11 月 9 日 (1 日)
(e) 調 理 技 術 の 基 礎	・ 家 庭 料 理 か ら の 脱 却 ・ 盛 り つ け 方		20 名	11 月 16 日 (1 日)
(f) サ ー ビ ス の 効 率 化	・ 新 調 理 シ ス テ ム の 機 器 活 用 に よ る 農 産 物 の 有 効 活 用 と 効 率 的 作 業 方 法 に つ い て		24 名	12 月 7 日 (1 日)

d 施設利用研修

名 称	主 な 内 容	対 象 者 及 び 定 員	受 講 者 数	期 間 (日 数)
(a) 農 産 加 工	レトルト殺菌研修	南会津町たのせ地区	3 名	4 月 26 日 (1 日)
	瓶詰め袋詰め	古殿町あぐりネット福島	6 名	6 月 21 日 (1 日)
	しそ巻き・たれ作り	福島県農産物加工者連絡協議会	22 名	9 月 7 日 (1 日)
	惣菜の袋詰め	和み	2 名	9 月 15 日 (1 日)
	ジャム加工	6次化創業塾	39 名	11 月 8 日 (1 日)
	ミルクがゆ	畜産振興協議会 (マザーズクラブ)	10 名	11 月 10 日 (1 日)
	レトルト殺菌	フーズネット福島	1 名	11 月 14 日 (1 日)
	コンニャク加工	コンニャク川俣	9 名	11 月 17 日 (1 日)
	そば加工	国際農友会白河支部	35 名	11 月 28 日 (1 日)
	弁当等の小鉢料理研修	福島県農産物加工者連絡協議会	20 名	12 月 2 日 (1 日)
	缶詰加工	天栄湯	1 名	1 月 30 日 (1 日)
	加工活動基礎	ワールドインテック福島	10 名	1 月 31 日 (1 日)
	米粉菓子加工	矢吹町	14 名	2 月 1 日 (1 日)
	レトルト殺菌	畜産振興協議会 (マザーズクラブ)	19 名	2 月 6 日 (1 日)
	缶詰加工	天栄湯	1 名	2 月 6 日 (1 日)
	太巻き研修	福島県農産物加工者連絡協議会	28 名	3 月 9 日 (1 日)
	缶詰加工	天栄湯	1 名	3 月 14 日 (1 日)
	缶詰加工	天栄湯	1 名	3 月 16 日 (1 日)
	レトルト殺菌	畜産振興協議会 (マザーズクラブ)	15 名	3 月 23 日 (1 日)

(ウ) 農業機械研修

a 運転免許取得研修

名称	主な内容	対象者及び定員	受講者数	期間(日数)
(a) トラクタ 運転免許取得	大型特殊特免許(農耕車 限定)取得のための運転 練習等	農業者 各10名		
第1回	・運転練習 ・作業点検 ・農作業安全知識	第4回は60歳以 上が対象	10名	5月23日～5月26日(4日)
第2回			9名	5月30日～6月2日(4日)
第3回			13名	10月3日～10月6日(4日)
第4回			14名	10月17日～10月21日(5日)
(b) けん引 免許取得	けん引免許(農耕用) 取得のための運転練習	農業者 各10名		
第1回	・運転練習 ・作業点検 ・農作業安全知識		10名	6月13日～6月16日(4日)
第2回			10名	6月20日～6月23日(4日)
第3回			13名	10月24日～10月27日(4日)
臨時			12名	11月7日～11月10日(4日)

b 農業機械技術研修

名称	主な内容	対象者及び定員	受講者数	期間(日数)
(a) 初めての農機整備	・工具の使い方 ・刈払機、管理機、乗用モア を用いた整備点検の基礎	農業者 10名	13名	5月13日(1日)
(b) 初めてのロータリ	・耕うんの理論 ・基礎的な耕うん作業技術 の習得	農業者 10名	12名	8月3日(1日)
(c) 初めての刈払機 第1回	・刈払機の基礎知識 ・基本操作法の習得	農業者 各10名	7名	8月4日(1日)
第2回			5名	9月8日(1日)
(d) 刈払機の資格取得 第1回	刈払機取扱作業安全衛生 教育修了証取得	農業者 各20名	17名	8月5日(1日)
第2回			11名	9月9日(1日)
(e) 初めてのアーク 溶接	・アーク溶接の基礎知識 ・基本操作法の習得	農業者 15名	16名	12月1日～12月2日(2日)
(f) アーク溶接の 資格取得	アーク溶接の取扱作業 安全衛生教育修了証取得	農業者 30名	10名	12月15日～12月16日(2日)
(g) トラクタの操作 技術向上	トラクタ操作に係る基本技 術習得 ・農業機械の基礎知識、効率利用 ・トラクタと作業機の構造と機能、点検整備 ・耕うん作業の実習 ・応急処置	農業者 15名	13名	11月14日～11月17日(4日)
(h) バックホウ資格 取得	・小型車両系建設機械(整地・ 運搬・積み込み用及び掘削用)の 特別教育修了証取得	農業者 15名	15名	5月19日～5月20日(2日)

c 農作業安全推進研修

名 称	主 な 内 容	対象者及び定員	受講者数	期 間
(a) 農作業安全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業機械の構造と事故発生のメカニズム ・ トラクタ、管理機、刈払機の安全な取扱い ・ トラクタの転倒事故体験 	農業者、関係機関、 団体職員等 各10名	7名	6月 3日(1日)
第1回			3名	10月 7日(1日)
第2回				
(b) 現地支援研修 現地で学ぶ 農作業安全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農作業安全に係る留意点 ・ 農業機械の安全操作 	(依頼主)	JAふくしま未来 15名 JAふくしま未来 45名 JAふくしま未来 23名 NOSAI 25名 須賀川農業普及所 639名 畜産研究所 36名 相双農林事務所 173名 農業担い手課 56名 JAふくしま未来 24名 南会津農林事務所 6名 JA福島さくら 22名	8月18日 8月25日 8月30日 9月 1日 9月 7日 9月27日 10月11日 12月 8日 1月20日 2月 7日 2月14日

d 施設利用研修

名 称	主 な 内 容	対象者及び定員	受講者数	期 間
(a) 農業機械	トラクタ運転免許取得	農短大職員	1名	4月 5日
	けん引免許取得	農短大職員	1名	4月 7日
	けん引免許取得	農短大職員	2名	4月12日
	農作業安全	農短大職員	12名	5月12日
	農作業安全(専門技術向上)	普及職員	15名	6月27日
	農作業安全	農短大職員	21名	6月28日
	けん引免許取得	法人雇用者	11名	9月15日
	けん引免許取得	農業者	3名	12月 9日
	農作業安全	JA営農指導員	24名	1月18日
	トラクタ運転免許取得	農短大職員	5名	1月25日
	農作業安全、整備点検	法人雇用者	10名	1月31日
	刈払機の整備点検	農短大職員	11名	3月13日
	農作業安全	農短大職員	19名	3月14日

2 研修生・講習生の受入れ

福島県農業総合センター講習生受入れ要綱及び福島県インターンシップ実施要綱に従い研修生等の受入れを行った。

(1) 福島県農業総合センター講習生の受入れ

受入部所	氏名	期間
果樹研究所	石渡 新 亀岡 聡 渡邊 幸男 亀岡 隆宏 小泉 顕也	平成 28 年 4 月 7 日 ~ 平成 29 年 3 月 22 日

(2) 福島県インターンシップの受入れ

受入部所	氏名	期間	派遣研修団体
畜産研究所	小関 美紀	平成 28 年 8 月 22 日 ~ 9 月 2 日	新潟大学(農学部)
作物園芸部	宗像 直輝	平成 28 年 9 月 5 日 ~ 9 月 16 日	新潟大学(農学部)
果樹研究所	菅野 葉	平成 28 年 9 月 5 日 ~ 9 月 16 日	山形大学(農学部)

